



発行
一宮市児童育成連絡協議会
事務局
一宮市栄3丁目1番2号
尾張一宮駅前ビル4階
(一宮市社会福祉協議会内)
TEL 0586-85-7024
FAX 0586-85-7025

令和6年11月13日

ウェブサイト「一の宮っ子」<https://www.intell-inc.com/ichinomiya.jido-ren/>

子ども交流会

西成連区 春明子ども会

六年 野原 羽芽



▲子ども交流会 何が始まるのかな？

私は6月1日に、子ども交流会に参加しました。この交流会では、あんたがたどこさ、言うこと一緒にやること一緒に、かいきやくじゃんけん、あんたがたどこさ②、バースデーチェーン、缶つみ、ゴロピカドン、関所破りの計8つのゲームで遊びました。

私がゲームをした中で一番楽しいと思ったのが、最後に遊んだ関所破りです。関所破りは、リーダーを決め、リーダーの所



▲缶つみ 落ち着いて慎重に

へ行き、じゃんけんをします。勝ったら交たい、負けたら往復して、もう一度じゃんけんをします。これでチーム全員がリーダーに勝てたはやさをきそうゲームです。2回ほどゲームをしたのですが、どちらも1位、2位と上位で嬉しかったです。はじめて参加したのですが、ジュニアリーダーさんや、大人のみなさんのおかげで、とても楽しくゲームをすることができました。

機会があれば、友達ともやってみたいと思います。参加できてよかったです。

奥町連区 旭三子ども会

六年 望月 優愛



▲開脚じゃんけん ふんばれ～

わたしは6月1日に、子ども交流会に参加しました。この交流会でやったゲーム演習はいくつかあったうち一番楽しかったのは、カンつみです。カンつみは、いくつかのグループに分かれてカンをつむゲームです。わたしたちのチームは、さかさまにしたりちがう形のカンを下にしました。わたしたちのチームは、13個つんで一位になりました。わくわくがあつて楽しかったです。ほかに楽しかったのは、開きやくジャンケンです。開きやくジャンケンでは、負けた人が左右に足を開くゲームです。けれどこのゲームはふつうなら手をついたらまげただけで特



▲体を動したあとは気持ちいいね

別のルールでひらける所までひらいて、と中手をついてもいいルールだったから、負けたけど最後まで足をひらくことができませんでした。なぜか知らない子なのにたくさんおしゃべりできたから楽しかったです。ほかに、たくさんゲームをしました。物がなくても自分の体を動かしたりして楽しく遊ぶことができました。自分たちの子ども会でも、こういう遊びをもっともつとひろめていきたいと思いました。



スポーツ大会

神山連区 神山二丁目子ども会

六年 水野 結月

6月9日の日曜日に、キックベースボール大会が行われました。私は、今回のキックベースボール大会で、宣誓をしました。後ろには、知り合いや保護者が大勢いたので、緊張しましたが、間違えずに言えたので、うれしかったです。

私がキックベースボール大会に参加するのは、3〜4回目なのでゲームには慣れていましたが、リーダーは初めてなので、緊張しました。キックベースは、サッカーと、野球を合わせたようなスポーツです。サッカーのようにボールをけて野球のようにベースを走り、ホームにもどると点が入ります。その得点を競っています。役員さ



▲みんなの前で宣誓

んの説明を聞いた後、一チーム

二試合ずつ試合をしました。

ボールをける時は、いい当たりでもフライだと取られてアウトになるので、力加減が難しかったです。守備をする時は、ボールを転がす役割だったので守備と両方するのは、難しかったのですが、皆より一つ役割が増えて、とても楽しかったし、チームの応援も皆とできて、とても盛り上がりました。



▲キックベースボール
野球とサッカーを合わせたようなゲーム

葉栗連区

更屋敷子ども会

六年 森 陽介

5月12日、ぼくは初めてスポーツ大会に参加しました。二学年ごとに分かれて、しばり取りやカゴが動く玉入れな



▲スポーツ大会
みんなあつまれ〜

ど、たくさんゲームを楽しむことができました。

その中で一番心に残っているのは風船割りレースです。このレースだけは、一年生から六年生までを混ぜたチームで行いました。同じ子ども会でも、ちがう通学班の低学年の子とはあまり話す機会がなかったため、レースの仕方を説明したり、一緒に応援したりと、仲良く取り組んで良かったです。同じ高学年の子とは、どうやら早



▲思い切り体を動かそう!!

く風船が割れるかをみんな考えて、うまく割れた時はとてもうれしかったです。

長い間、コロナのえいきょうで子ども会の行事も少なくなっていたけれど、今回のスポーツ大会では久しぶりに全力で走ったり投げたりできました。勝ち負けも大事だけれど、終わってみるとみんな笑顔で過ごすことができました。良い思い出になりました。学年の違う子とも友達になれたので、これからの子ども会活動がとても楽しみです。

開明連区 高野島なかよし子ども会

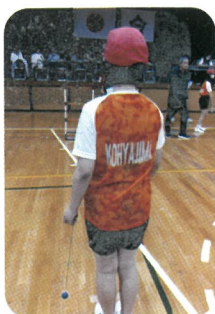
六年 早川 舞奈



▲モルック 木の音がいい

6月9日の日曜日に、スポーツ大会を行いました。競技種目は四種類ありましたが、今年も雨で一つできませんでした。今年は『モルック』という新しい種目がありました。モルックは外で行うスポーツですが、体育館の中でも木のぶつかり合う音がひびいて新鮮でした。毎年行

われているディスクゲッターは、1〜9の的に5枚のディスクを投げます。5〜9の的をねらい高得点を取っている子が出て、上手だなと思いました。ラダーゲッターは、グループで優勝すると賞品がもらえるので、とても盛り上がりです。高学年になるにつれ、最高得点の5点を取っている子がたくさんいました。結果発表を待っている間は、ドキドキしました。私のグループは今年も優勝することができたので、良い思い出となり、うれしかったです。種目ごとに競い合う相手が同学年の子や近い学年の子とそれぞれです。協力する人数も違うので、いろいろな子と仲を深めたりアドバイスをしあったりして、とても楽しかったです。



▲うまく狙ってー



一宮市ジュニアリーダークラブ



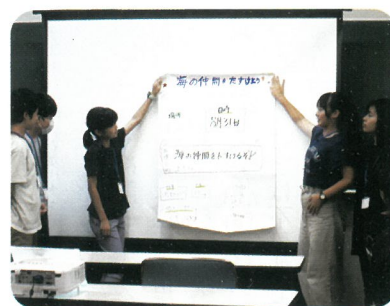
中学一年 須甲 陽向

私は、この資格認定講習会を通して学べたことがたくさんありました。子ども会の意義や、子ども会活動のすすめ方などを学びました。また、レクリエーションや野外活動などを通して仲良くなった人もたくさんいました。

講習会なので、ルールがあつて厳しい場所なのかなと思つていましたが、講師の方々がすごく優しくて、親切にしてくれたから、すごく安心しました。



▲ ジュニアリーダー 資格認定講習会



▲ 子ども会の企画の発表

一番心に残っている事は、「リーダーとして子どもがあこがれてくれる人になろう」ということです。私にも、あこがれているリーダーの方がいます。私もその人みたいになれるように一層努力をしていきたいと感じました。

この三日間はとても勉強になりました。普段はできない体験をさせていただき、ありがとうございました。この資格認定で学んだ事や感じたことを忘れずに、これからもジュニアリーダーとして地域を盛り上げていきたいと思ひます。

中学一年 金子 芽生

私はジュニア・リーダー資格認定講習会に参加しました。

最初の方は、講習がたくさんあり、ついていけないのか、とても不安でした。しかし、軽スポーツや、野外活動を通して、周りのみんなとうちとけることができました。講師の先生方が面白く、分かりやすい講義をしていたため、すぐに慣れて不安が、楽しい、学びたい、という気持ちになりました。

更に、講義を受けジュニアリーダーとして、子ども会をどうしていくべきなのか、普段やっている活動をよりよくするために、どうすればいいのか、など様々な知識を身に付けることができ、よかったです。

また、自分達の地区にはないイベントや、ゲームを他の地区



▲ 野外活動で親しくなる



▲ キャンプファイヤーの実行 安全面も万全

の人達と共有し合い、楽しく交流できました。この三日間だけで、たくさんの友達ができて、とてもうれしかったです。

この三日間、とても楽しく、「ジュニアリーダー」を理解する事ができました。この素晴らしい経験を、派遣や社会でも活かしていきたいです。

高校一年 本田 瑠菜

私は全子連認定講習会に三日間参加しました。昨年初級を受け、ジュニアリーダーとしてのスキルを高めるために、また行きたいという思いがあり今年の中級を受けました。

理論では、自分達で一泊二日の子ども会の企画や運営をグ



▲ ジュニアリーダーの皆さん

ループワークを通して学びました。ほかにも子ども会の意義、安全なども学びました。

技能では自分の地域のお祭りをみんなに紹介するという講義があり、各々自分の地域のお祭りに個性があつてとても面白かったです。そして、初級の子を対象にキャンプファイヤーのレクリエーションを考え、実行しました。安全面もしっかり考えながら、どうしたら楽しんでもらえるか、中級全員でグループワークをしました。

この三日間、様々な講義を受け色々な人と関わって、沢山のことを学びました。この経験は私にとって貴重で大切なものになりました。これからもこの経験を生かしながらジュニアリーダー活動に専念していきたいです。

西尾張ブロック

地域子ども会育成者研修会

一宮市児童育成連絡協議会

副会長 木村 知之

「子ども達が主体的に活動する子ども会にするために育成者はどうしたらよいか」をテーマに警察、大学、大手企業でも研修実績のある講師の濱崎氏より

アンガーマネジメント研修を受講致しました。怒りの感情は技術論でコントロールすることが出来る為、学べば誰でも習得できるそうです。怒るということは目に見えず、「怒らせるものの正体」を突き止めて「どうしたら」という解決志向にて「どうしたら相手がかわるか」「どうしたら自分がイライラしないか」を考えると良いそうです。怒りを収める仕方で6秒カウントすると良いと言われますがこれは6秒で怒りが収まるのでは



▲ 講師の濱崎明子氏

なく、理性が働く為にかかる時間だそうです。世の中の価値観の変動もあり様々なことで理想と現実のギャップがおこり怒りが生じます。この研修を活かし子ども会指導者としてコミュニケーションを大切に子ども達が主体的に活動できるように努めます。

一宮市児童育成連絡協議会

専門副委員長 河辺 三代

9月7日(土) 弥富市総合福祉センターで開催された西尾張ブロック地域子ども会指導者研修会に参加させて頂きました。

アンガーマネジメントのアンガーは怒り、マネジメントは後悔しないようにすることで、感情論ではなく技術論だそうです。怒る必要のないことを怒らないようにする、怒る必要があるなら上手に怒れとのことでした。怒りを伝達手段として大きな声ではなく冷静に伝えることが大事！怒りとは感情表現であり、人間にとって自然な感情の一つ、怒りのない人はいないし、なくすることは不可能です。つまり身を守るための防衛感情の機能役割だそうです。

子ども達は普段大人から怒ってはいけなさと教えられて育ってきたので、怒っていいと教えられるとホッとしたり、安心す

るそうです。

私たちが怒らせるものの正体は誰かや出来事ではなく理想と現実のギャップ、〇〇はこうあるべきだと思う『べき』が人それぞれ違うことから怒りが爆発する。怒りに寄り添っても解決しないので、大切にしている『べき』を相手に明確に伝える、どう伝えていくかが重要で、どうしたら相手が変わるかを考え、どうしたら自分がイライラしないかを考えることが大切だそうです。

グループワークでは最近怒ったことについて話し合いました。私は子どもに対して怒ったことをいくつも挙げることができたのですが、怒ったことは一つしか思い当たらないという人もいました。感情の出し方は人によってこんなに違うのかと驚きました。

私自身、小さなことですぐ子どもに怒ってしまうので、もう少しゆとりをもって相手に伝えられるようになりたいと思いました。学んだことを自分の子どもだけでなく、子ども会活動に参加する親御さんや、子ども達に伝えていきたいです。



東海北陸地区子ども会育成研究協議会

シニアリーダー

越野 祐子

私は、東海北陸地区子ども会育成研究協議会岐阜大会にシニアリーダーとして参加させて頂きました。二日目の体験ブース「モノづくり」は、何を

作るんだらうと興味津々でした。岐阜県のシニアリーダークラブの皆さんの指導のもと、身の回りにある身近な材料を使っ

ての遊び道具作りでした。今回は、牛乳パックを使って輪投げ作りとキュービックスパズル作り

でした。材料も家にあるもので簡単に作れ、作ったあとは自分たちで遊べるととても合理的で無駄のないモノづくりでした。どの子ども会に紹介しても喜ばれるモノづくりだったと思います。

一宮市のジュニアリーダーにも紹介し、地域の子ども会活動



▲ モノづくり

に生かし、また、ゲーム機器ではなく自分たちで作り、和気あいあいと友だちみんなで遊ぶ、そんな遊びを地域の子どもたち



▲ 身近な材料で
手で作る遊び道具

表彰

一宮市表彰条例
による表彰
(15年以上在職)

今伊勢町連区児童育成協議会

各務 純一 様
長崎 良美 様
野村 清美 様
柳田 みづほ 様



広報委員

河辺 三代・赤野 ルミ子
松野 真紀・栗本 博子